SUPPORTER'S ASSOCIATION NEWS

後援会だより

後援会の活動報告

後援会の多岐にわたる活動についてご紹介します

就職状況に関する資料公開（オンライン公開）

例年の父母懇談会で会員の皆さまにご聴講、ご参加いただいておりますプログラム、大学職員による「就職状況」などに関する説明を今年度もオンラインで公開しております。

■「就職状況」などに関する資料公開閲覧は、後援会ウェブサイトの会員限定特設ページにアクセスし、IDとパスワードの入力が必要です。

2025年度 法政大学後援会 総会電子表決結果のご報告

全ての議案において、行使された議決権の賛成が半数を上回り、6月7日（土）付けにて可決・承認されましたことをご報告いたします。

※電子表決が行われない場合は、議長に一任いただいたものとして取り扱いました。

■総会資料は後援会のウェブサイトに掲載しています。
https://www.hosei-koenkai.org/branch/shutoken/2025.html

2025年度 首都圏父母懇談会のご案内

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の父母の皆さまへは、8月下旬よりキャンパスごとに順次案内状を発送する予定です。

■詳しくは後援会ウェブサイトをご覧ください。
https://www.hosei-koenkai.org/

市ケ谷キャンパス	10月5日（日）	対象▶法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS（グローバル教養学部）の父母・保証人
小金井キャンパス	10月12日（日）	対象▶情報科学部、理工学部、生命科学部の父母・保証人
多摩キャンパス	10月18日（土）	対象▶経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の父母・保証人

2025年度

法政大学後援会 運営委員

前列左から佐藤晃副会長、
菅野美穂副会長、佐々木英世会長、
幸山美佐子副会長、山上晃央副会長
中央列左から池田弘美総務、
金子順子総務、安井洋子総務、
助川千尋総務、後藤光恵総務
後列左から奥山敏総務、井上清貴総務、
山口剛史総務

2025年度 後援会役員

会長　佐々木 英世

副会長　菅野 美穂／幸山 美佐子／佐藤 晃／山上 晃央

総務　奥山 敏／金子 順子／助川 千尋／安井 洋子／山口 剛史／池田 弘美／井上 清貴／後藤 光恵

常任幹事

2年 … 石井 奈美／川口 泰由／高見澤 とも子／吉田 三知子

3年 … 稲冨 裕介／高橋 誠／星野 美穂子／松山 繁博／村井 智枝／山之内 淳史／和田 吉立

4年 … 井崎 美妃／石原 修二／長田 信春／鎌田 祐子／佐伯 康子／冨士 豪生

幹事

1年 … 網谷 美雪／今浪 和人／大坪 真裕美／加藤 起久子／金井 三智子／金平 美樹／茅 順一朗
川口 浩／神田 浩士／雫田 武俊／左右田 美也子／友野 正一／西尾 久美子／西村 亮／長谷川 まゆみ
廣江 利浩／松尾 奈穂子／三角 亜希子／明神 朋美／元川 喜之／尤 澄子／渡辺 明代

2年 … 秋山 和典／荒井 康洋／沖 由香子／白石 智恵子／鈴木 聡子／鈴木 智晴／薗田 直孝／轟 典子
西野 理恵子／袴田 真一／橋本 優子／福留 智子／藤井 英樹／増田 高夫／吉識 肇

3年 … 秋山 真琴／清岡 泉／工藤 幸子／佐々木 秀雄／高津 尚晃／長倉 明美／萩原 泰子／福田 毅／渡部 真紀

4年 … 植野 一男／郡司 貴志／佐々木 悦子／須永 幸代／山口 恵美／山中 康弘

監査　小林 こずえ／渡邉 千恵

2025年度

講演会報告

法政大学後援会
副会長
菅野 美穂

6月7日（土）にスカイホールにて映画監督の成田洋一さんの講演会が行われました。大学関係者・後援会本部、支部役員、学生が参加し、盛況でした。監督は本学文学部英文学科の卒業生です。映画監督になりたい、世界で働きたいと考えていましたが、卒業時、映画業界は斜陽産業でした。CM制作会社に入社し海外で賞を取るなどご活躍後、独立。年間30本ものCMを制作されました。55歳で映画の仕事をすることにしましたが、CM監督としては有名でも映画業界は違い、製作費の調達、スタッフとの関係など苦労されたそうです。そのときに生きたのが入学式でお話ししてくださった3つの法則です。

「誠実」。他人に対してだけでなく、自分に対しても誠実であること。自分で決めたことをやり遂げる。やらなくても他人に迷惑は掛からないが、それではいつまでも目標は達成できない。

「自分で決めたよね？」と自問し、守る。

「愛情」。仕事だけでなく、周りの人全てに「全部受けています」という視線を送ると相手も悪い気はしない。本音を引き出すことができる。結果苦労が減り、人生は楽しいと思える。

「あいさつ」。形式的なものでなく、自分の状況を知るための「リトマス紙」。周囲の態度が冷たいなと感じ「天狗になっている」と言われたとき、自分はあいさつをしてなかったことに気付いた。仕事に集中するあまり周りの人に意識が行き届かず、それが軋轢を招いていた。あいさつをすることで確認できる。

この3つの法則を実践し、映画製作の困難を解決できたとお話しくださいました。懸命に何かやっていると運も味方してくれる。日本アカデミー賞を受賞した今はそれを地元秋田に還元したいと、中高生を対象としたワークショップを実施されています。

2025年度 新入生父母の集い報告

法政大学後援会
長野県支部 副支部長
早川 英治

長野県支部では、6月8日（日）、松本市のアルピコプラザホテルで「新入生父母の集い」を開催しました。今春、長野県からは95名が法政大学に進学。新たな「オレンジの仲間」の新入生保護者14名をはじめ、役員など計36名が参加しました。

保健体育センター多摩体育課の島田大輔課長より、「充実した大学生活を送るために」と題し、授業の履修からアルバイト、注意すべきことなどをお話しいただきました。SNSなどを通じたさまざまなトラブルが世間を騒がせていることもあり、保護者は親元を離れて暮らすわが子への心配が尽きません。こうした中、「学生生活課」「学生相談室」など、法政大学の学生支援体制を知り、安心につながったようです。

今回、長野県出身の現役学生3名から、「暮らし」「多摩祭実行委員活動」「留学」と、それぞれの学生生活に即した話をしてもらいました。日々の食事や経済状況、学業とアルバイトや諸活動との両立の工夫…、それらの経験が将来への糧になっているというリアルな声に、保護者も納得しながら聞き入っていました。その後は全員でランチ会。おいしいお弁当を食べながら、出身校や出身地をはじめ『オール』って聞くけど大丈夫？」「親との連絡はどうしている？」など、「親の本音」「子の本音」で盛り上がり、親睦も深まったようです。

長野県支部では、後援会活動を身近に感じ参加してもらうことを願い、グループLINEや支部だよりなど情報発信に力を入れ、今後も「オレンジの絆」を強められるよう努めてまいります。

2025年度 新幹事予定者説明会・キャンパス見学会報告

法政大学後援会
副会長
山上 晃央

小雨が降り、5月にしては肌寒く感じられた5月31日（土）、2025年度新幹事予定者を対象とした説明会とキャンパスツアーが開催されました。思い返せば、私自身が参加した際はコロナ禍の影響でハイブリッド形式となり、オンラインでの参加でした。現在は特別な制限もなく、さまざまな活動が再開できているのも、困難な状況の中、後援会の襷をつないでくださった先輩方のおかげです。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

当日は新幹事予定者22名が九段校舎に集まり、後援会長、運営委員、大学関係者から活動内容や大学の現状について説明がありました。自己紹介や活動方針の共有を通じて、それぞれが後援会への思いを深めました。参加者には法政出身の方やスポーツ応援、学生支援に関心を持つ方など多彩な方々がいらっしゃいました。

説明会後は市ケ谷キャンパス見学と昼食を挟み、多摩、小金井の各キャンパスに分かれて大学専用マイクロバス（通称青バス）にて移動しました。道中および各キャンパスの見学では、オープンキャンパススタッフの学生の皆さんが、学生生活についてさまざまなお話をしてくださったことで、有意義な一日となり、新幹事の皆さんも大変満足されていた様子でした。「子どもの母校は我が母校」の合言葉を胸に、新たな仲間と共に活動を盛り上げていきたいと思います。

最後に、新緑の中、小雨降る多摩キャンパスの景色はとても印象的で、心に残るひとときとなりました。

東京六大学野球・春季リーグ観戦報告

法政大学後援会
常任幹事
井崎 美妃

東京六大学野球春季リーグが開幕しました。法政大学の初戦は4月19日（土）、立教大学との一戦。Diana Khor総長も観戦に訪れ、スタンドはオレンジ色に染まり、大きな声援が飛び交いました。試合は立教に先制を許す展開でしたが、6回には同点に追いつきスタンドでは肩を組んでの校歌斉唱。応援団のリードで、声を合わせる応援が一段と熱を帯びました。9回裏に再び立教に得点を許して敗れはしたものの、最後まで選手たちに声援を送り続けた時間は、勝敗を超えて胸に残るものでした。勝ちばかりではないのがスポーツです。けれども、日々努力し、ひたむきに勝利を目指している野球部の姿に、私は毎回感動をもらっています。

4月26日（土）には、東京六大学野球連盟の創立100周年を記念した「レジェンド始球式」が行われました。登板されたのは、法政大学卒業生であり全日本野球協会会長である山中正竹さん。力強く美しいフォームでの投球に球場からは大きな拍手が湧きました。山中さんは、「選手と監督が一緒になって戦えるスポーツは野球だけ」と語ってくださいました。その言葉を聞いて、私は試合中、選手だけでなく監督にも自然と声援を送りたくなりました。

私が初めて六大学野球を観戦したのは10年前です。野球のルールもよく分からず、緊張しながら神宮球場に足を運んだのを覚えています。得点が入ったとき、肩を組んで校歌を歌う光景に驚きつつも、すぐにその楽しさに引き込まれました。

新入生の保護者の皆さま、入学式の祝辞で地頭江後援会前会長が話されていた「子どもの母校は我が母校」という言葉の通り、法政ファミリーの一員として、ぜひ野球部を応援してください。お子さんだけでなく、ご家族も一緒に、大学生活を楽しんでいただきたいと思います。

秋季リーグぜひ球場で、一緒に熱い声援を送りましょう！

後援会スポーツ応援来場者向け企画

応援アイテムプレゼント!!

詳細が決まり次第、後援会のウェブサイトでご案内いたします。ご興味のある方はぜひチェックしてみてください。

法政大学後援会事務局

所在地　〒102-0073　東京都千代田区九段北3-2-3　法政大学九段校舎4F
TEL　03-3264-9350
FAX　03-3264-9367
E-MAIL　koenkai@hosei.ac.jp

後援会ウェブサイト
https://www.hosei-koenkai.org/